



イラク復興支援群活動報告

17.4.24

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 體 (4月24日)

○ サマーワ主力

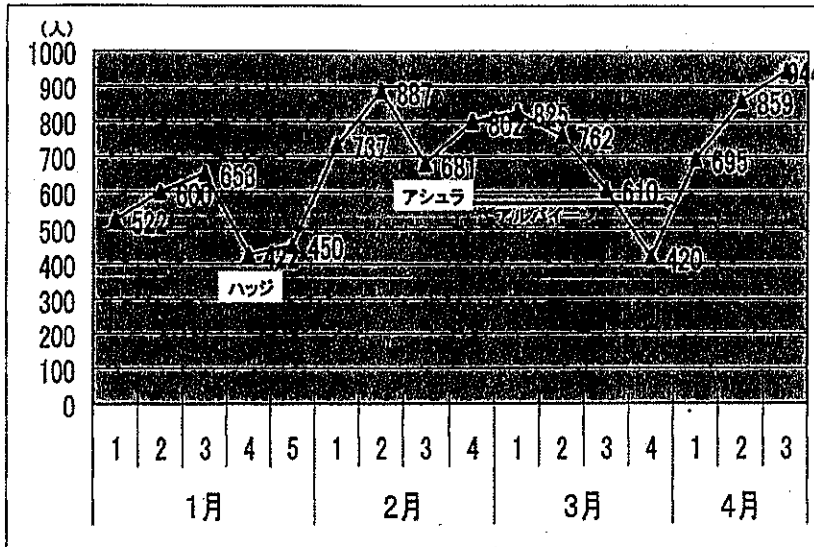
- 人員・武器・装具、異状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
 - ◆ 医療：総合病院医療技術指導（サマーワ）
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - 9カ所（サマーワ×4、マジット、スウェイル、ナジミ、ワルカ、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - 3カ所（サマーワ×3）での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - アッバスPHC施工開始確認（ヒドル）
 - 別紙第1「アッバスPHC施工開始確認（ヒドル）」
 - 3カ所（サマーワ、ワルカ、ヒドル）での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - 3カ所（サマーワ×2、ワルカ）での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 9カ所（サマーワ×8、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 清掃事業関連施設の改修：
 - 1カ所（サマーワ）での役務作業
 - ・ その他
 - ムサンナガソリンスタンド現地偵察（サマーワ）
 - 別紙第2「ムサンナガソリンスタンド現地偵察（サマーワ）」
 - ◆ 人道復興関連物資等の輸送
 - ・ ムサンナガソリンスタンド現地調整（サマーワ）
 - ・ 寄付関連物資の輸送調整（宿营地）

全 體 (4月24日)

- 宿营地関連施設の整備
 - ・ 医務室耐弾補修作業
 - ・ 耐弾性強化施設補修作業
 - ・ 緊急CP補修
 - ・ 浴場排水施設の構築
 - ・ 出島コンテナ改修
 - ・ ヘリポート舗装
 - ・ 燃料庫補修工事
- その他
 - ・ 本日の最高気温52℃（直射日光下）、今年初めて50℃を突破
 - ・ 業支隊長、アッバスPHC施工開始確認実施（ヒドル）
 - ・ 業支隊長、果治安最高責任者対応実施（宿营地）
 - ・ 対外発信関連：FUJ15月号原稿調整（宿营地）
 - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ25両に対し約250t（約55,000人分）が配水された。
4月24日まで計約12,220t（約2,715,000人分）配水（4.5リットル/人・日換算）
 - ・ 4月24日現在の雇用人員
医療（PHC等）121名、学校修復465名、道路補修51名、青年・スポーツ関連165名、
清掃事業関連18名、給水関連58名、通訳58名、警備40名、給仕1名、ゴミ処理3名、
し尿処理3名、清掃3名、耐弾性強化施設補修作業20名、エンジニア2名、タクシー20名、
床屋2名、弁護士1名、アドバイザー1名、電気工等3名、T-レックス操作等2名、緊急CP
補修5名、出島コンテナ改修10名、燃料庫補修工事10名

計1,062名

投函雇用人数の推移（週平均・全国除く）



全 数 (4月24日)

- クウェート分遣班
 - ・ 第6次群受入準備
 - ・ 業者調整
 - ・ 郵便業務
 - ・ 車両点検
- バクダッドLO
 - ・ 恒常業務
- バスラLO
 - ・ 恒常業務
- スミッティLO
 - ・ 恒常業務
- クウェート大使館LO
 - ・ 恒常業務

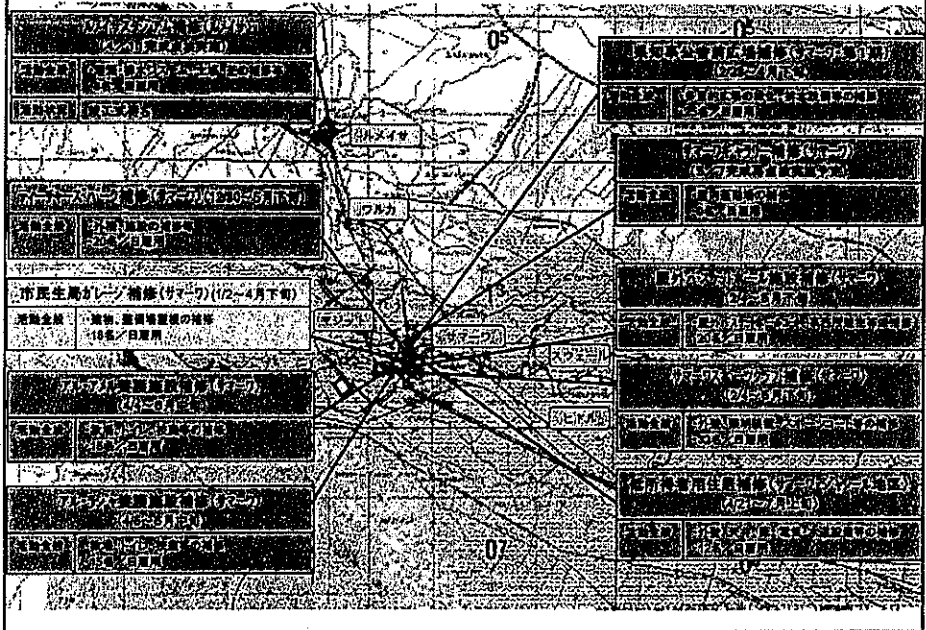
離自人道復興支援活動(補修等)の概要(4月24日成果/学校)

7ル・ナグラス小学校(ナジブ) (1/17~5月中旬) 活動全般 ・校舎2階建て、非常用設置、トイレ補修 ・40名/日雇用		7ル・ナジブ女子小学校(ルメイ) (4/18~5月下旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・65名/日雇用
7ル・ハブアイン小学校(サマー) (2/2~5月下旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・85名/日雇用		7ル・アグラス小学校(ワカ) (4/11~5月中旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・21名/日雇用
7ル・ドール小学校(サマー) (2/4~4月下旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・14名/日雇用		7ル・ソラニ小学校(マシク) (1/8~5月下旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・75名/日雇用
7ル・ザハ女子中学校(サマー) (4/2~6月下旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・73名/日雇用		ACF・アブ・アムル小学校(スール) (1/8~5月上旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・50名/日雇用
7ル・ミダク中学校(サマー) (4/2~5月中旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・40名/日雇用		

離自人道復興支援活動(補修等)の概要(4月24日成果/道路、PHC、給水関連施設)

7ル・ナグラス小学校(ナジブ) 活動全般 ・校舎2階建て、非常用設置、トイレ補修 ・40名/日雇用		6ル・PHC補修(ワカ) (2/2~4月下旬) 活動全般 ・壁、電気配線の補修等 ・14名/日雇用
7ル・ハブアイン小学校(サマー) (2/2~5月下旬) 活動全般 ・壁、電気配線の補修等 ・85名/日雇用		7ル・PHC補修(サマー) (1/22~4月下旬) 活動全般 ・壁、電気配線の補修等 ・51名/日雇用
7ル・ドール小学校(サマー) (2/4~4月下旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・14名/日雇用		7ル・PHC補修(ワカ) (4/15~7月中旬) 活動全般 ・壁、電気配線の補修等 ・40名/日雇用 活動状況 ・掘削機等稼働
7ル・ザハ女子中学校(サマー) (4/2~6月下旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・73名/日雇用		ゴミ処分場付帯道路補修(サマー・第2期) (1/18~5月下旬) 活動全般 ・付帯道路の補修、砂利舗装及びアスファルト舗装 ・17名/日雇用
7ル・ミダク中学校(サマー) (4/2~5月中旬) 活動全般 ・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・40名/日雇用		
サマー市内道路(アムル地区・第三区画補修) (第1期工事・2/1~4月下旬) 活動全般 ・砂利舗装及びアスファルト舗装 ・34名/日雇用		
サマー市内道路(アムル地区道路) (第2期工事・4/4~7月下旬) 活動全般 ・砂利舗装及びアスファルト舗装 ・0名/日雇用		

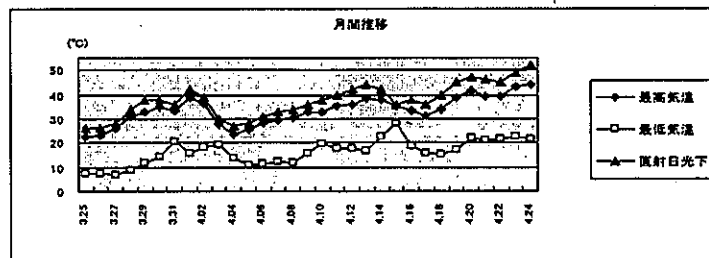
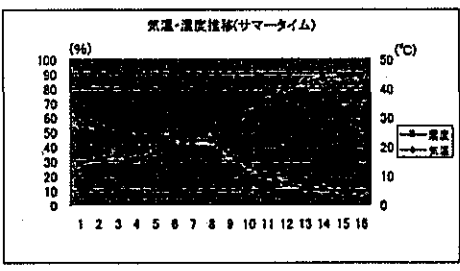
障自人道復興支援活動(補修等)の概要(4月24日成果/青年・女性・福祉・清掃事業)



現地の気象情報

報告内容

サマータイム
 日の出 : 0621
 日の入り : 1934
 天 候 : 晴れ
 気 温 : 最高44.1°C、最低21.8°C
 : 最高52.0°C(直射日光下)
 湿 度 : 26.4%
 風 速 : S 2~3 m/s



		人員現況																						
上段:増人員数 下段:減人員数																								
区分	所属人員	サマーワ			クウェート			バグダット			バスラ			キャンプ・スフィ			ドバイ		国外		国内			(備考) 既員の異動及び増減人員の内訳
		定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員		
5次支援隊	481	481	0 0	481	-	0 0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	481	0 0	481	0	0 0	0	
5次業務支援隊	10	10	0 0	10	-	0 0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0 0	10	0	0 0	0	
業務支援隊	109	70	0 0	73	20	0 0	23	4	0 0	3	4	0 0	4	1	0 0	1	0 0	109	0 0	109	0	0 0	0	機力増員4名(サマーワ)1名(バグダット) 21名からドバイ隊、業務員2名(ドバイ)20名からサマーワ隊
合計	600	566	0 0	564	25	0 0	23	4	0 0	3	4	0 0	4	1	0 0	1	0 0	600	0 0	600	0	0 0	0	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
本日のTV電話使用者数:3名、FOMA使用者数:19名(第5次隊TV電話合計:161名、FOMA合計:382名)

		車両の現況(車両等)																			
		車 両																計			
		小型	中型	救急	軽甲	高機	WAPC	業4	マイク口	施設	水タンク車	燃料タンク	冷凍車	セミトレ	大型	特大型	浄水セット		重レッカ	滑接車	修理車
10	サマーワ	13	10	2	44	20	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	187	
	シャイバ																				
	バスラ					1														1	
	タリル																				
	バグダット																				
	計	13	10	2	44	21	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	188	
KW	キャンプVA	1			2			2	1					6						12	
	キャンプアリアン																				
	計	1			2			2	1					6						12	
	総計	14	10	2	46	21	7	2	2	22	7	5	4	4	37	9	4	1	1	2	200

装備の現況（武器）

		武 器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマワ							
	シャイバ							
	バストラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンブVA							
	キャンブアリアジャン							
	計							
総 計								

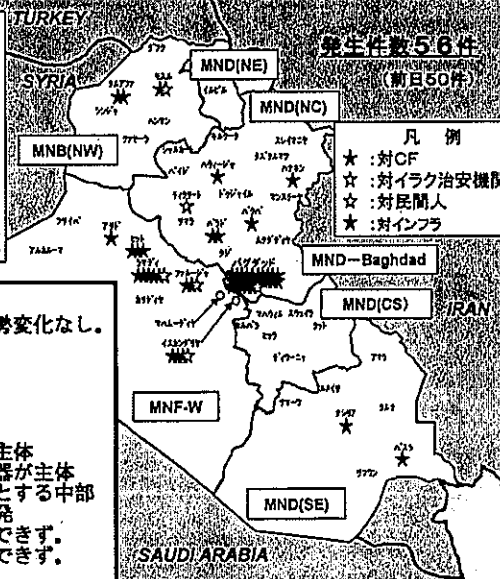
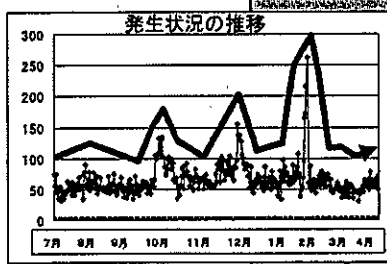
装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	203	201	2	0	燃タ×1 吐出ポンプ圧力調整 バルブ摩耗 WAPC×1 底板亀裂	整備待ち 後送待ち
中型ドーザ	1	0	1	0	油漏れ(トルコン油圧ホース不良)	部品待ち
酷暑用冷凍冷蔵車	8	5	3	0	発電機コンプレッサ冷媒漏れ	整備調整中
コンテナスキャナー	2	1	1	0	No2:画像映らず	故障探求中
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	99	65	16	18	オイルシール不良×13 エンジンクレーン不良×3	部品待×7 整備待×6 部品待×3
発動発電機(25kw)	70	63	5	2	オイルシール不良×5	部品待×5
発動発電機(60kw)	59	34	0	25		
発動発電機(180kw)	17	16	1	0	エンジン(ロッカーアーム破損)	整備調整中
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良	後送中

装備品等の可動・不可動の状況②

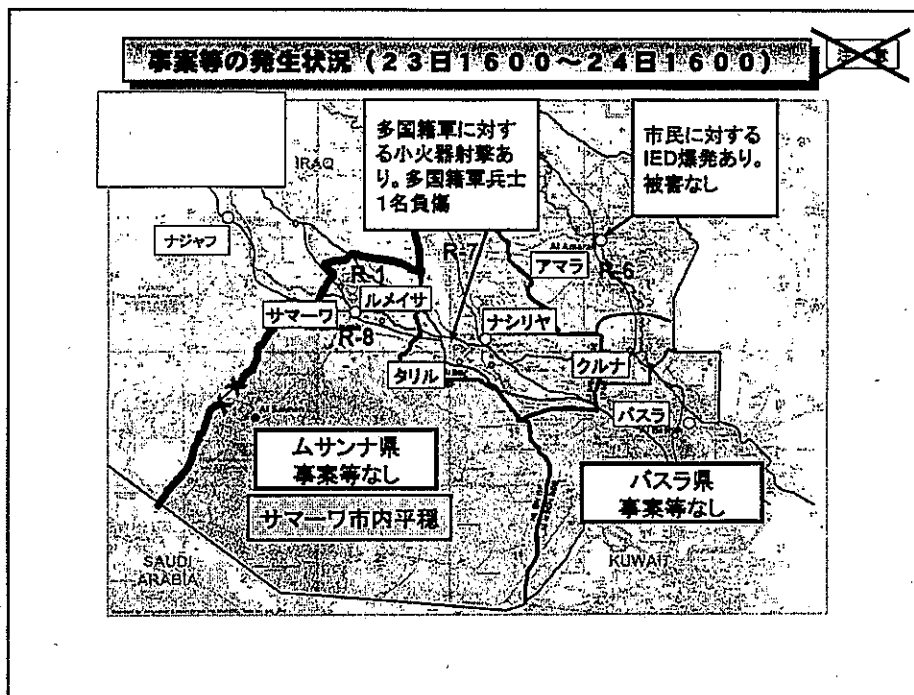
項 目		総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考					
浄水セット	官品	4	4	0	0							
	民生	2	2	0	0							
遠距離監視システム	昼用											
	夜用											
近距離監視システム												
近距離暗視装置(V7)												
微光暗視装置(V3)												
空中監視装置												

全国の事業等の発生状況(昨日)



- ☆ 全般としてイラク全土の不安定な情勢変化なし。
- ☆ 細部発生状況
- 時 期 等：昼夜間関係なし。
- 基 地 等：昼夜間関係なし。
- 手 段 等：迫撃砲とロケット弾が主体
- 移動部隊等：即製爆弾、RPG及び小火器が主体
- 地域別状況：バグダッド地域を中心とする中部一帯及び北部で活動活発
- 中南部地域：比較的安定、但し油断できず。
- 南東部地域：比較的安定、但し油断できず。

(23.0700～24.0700現在)



ルメイサ・サドル派の動向

【概要】

- 最近2週間ほど違法な車両検問所がルメイサ市内に出現
→武装したサドル派民兵の20名程度により運営
- イラク陸軍のチェックポイントにおいて、サドル派のメンバーは検問（停止・検査）に従わない事例あり
- ルメイサのサドル派の横暴な行動は、イラク警察によって黙認されている→ルメイサのイラク警察の約40%はサドル派支持者

【現地情報】

- ルメイサのイラク警察創設時、サドル派のアッシャーラ師の計らいでサドル派支持者がイラク警察に採用（南部総代表になった現在でもアッシャーラ師に忠誠を誓う警官多し）
- イラク警察に12名、施設防護隊に10名のサドル派内通者を確認

<評価>

- サドル派がイラク警察に浸透するほど、むやみに過激な行動は取れず、ある意味安定している状態（指示があれば急変する性質は保持しており）
- ルメイサ市内の陸自の活動については、特に問題はない（脅威情報なし）

サドル派豪軍批判:金曜礼拝の状況

【アル・グレイブモスク:サマーワ市内(サドル派)】

○説法者:ガラウィ師、ザルガニ師(200名)

○内容

(ガラウィ師)

- ムクタダ・サドルのリーフレットの内容を朗読
「ムクタダに神の栄光を、サドルファミリーに神の栄光を」

- 多国籍軍はイラク人を奪めようとしている

(ザルガニ師)

- 木曜日にオーストラリアのメディアのインタビューに答えた時の内容を引き合いに出し説法

・記者:オーストラリアがサマーワに来ることをどう思いますか?

師:その質問は遅きに失する。なぜそんな質問をするのだ。

既にオーストラリア軍は来ているではないか。入ってきた軍隊に対しては、私の考え方も、言葉もない

・記者:我々は日本軍と英軍が人々と部族に対して安全を金で買うような行為をしていると聞いていますが本当ですか

師:(激昂して叫びながら)

お前はそんなことを聞かせて私を侮辱するつもりか。彼らは金で我々を墮落させようとしている。彼らは我々のイスラミック・レボリューションを破壊しようとしている。

我々は強くイギリス軍の占領に反対する。

歴史を見よ。今彼らは再び我々を奪めようとしている。

- その後、「ノーアメリカ、ノー占領」のシュプレヒコール
- オーストラリアのメディアが多数のカメラ・ビデオ等で撮影

【アル・サマーワモスク:サマーワ市内(サドル派穏健派)】

●説法者:アワディ師(約150名)

●内容:「ムハンマドの生誕・生涯」「マダエンの殺害事案は悲劇」

【アルメディーナモスク:ルメイサ(サドル派)】

●説法者:アドナン師(約600名)

●内容:「アメリカはテロを支援し、問題を作り出すことにより、長期駐留を画策し、シリアを攻撃するだろう」



<評価>

- 外国軍隊を否定する姿勢自体は、従来のサドル派の主張と変化なく、特に顕著なものではない(当然豪軍もその範疇にはいる)
→直接的な脅威は少ないものと推測(具体的な攻撃指令等なし)
- 豪メディアの記者が、日本と英軍の部族対応等について、質問している内容は、ムサンナ県民及びサドル派の誤解を招く可能性があり、豪軍広報(24日以降到着予定)には事実を説明する必要があるものと思料
- その他のモスクについては、特異動向なし

23日共同『民家で爆発、男性重傷 サマワ近郊』



【記事の概要:23日サマワ共同】

- サマワ近郊ルメイサで22日夜、民家の玄関付近に仕掛けられた爆弾が爆発、この家に住む若い男性1人が重傷
- 詳しい原因は不明、サマワ周辺では酒の密売にかかわっていた住民の自宅がイスラム過激派に爆破される事件が相次いで発生

【現地情報】

- 酒類を密売していた男性が被害、爆発は小規模
- 過去にも同様の事案がルメイサでは多発
→ルメイサはサマワよりも古風・保守的

【過去の類似した事例】

- ルメイサ・サマワ市内においてもポルノビデオショップが爆破
→酒類の密売に起因する事案の報道は陸自展開以来はじめて

<評価>

- イスラムの文化・風習に反しない行動に改めて留意
→女性への接し方、古雑誌(露出度の高いもの)の処理等

24日時事「電力不足不満とデモ＝治安への影響懸念」

【記事の概要:24日サマワ時事】

- 電力不足に不満を募らせた市民
約100人が市内をデモ行進
- サマワでは最近停電が頻繁に発生
- 夏場を前に電力事情が改善されなければ不満のはけ口がインフラ整備が出来ない自衛隊にむく懸念も

【現地情報】

- デモの主催は、露天商が中心
 - 0930～1040頃 約50人が露店商排除容認の知事へ反発
 - ここ数日、イラク警察による露天商排除が徹底的に実施
→露天商とイラク警察との乱闘騒ぎも発生
 - デモの趣旨は、露天商排除及び場所の移転への不満



- <評価>
- デモの趣旨は電力不足への不満ではない(陸自への言及もなし)
 - 夜間の断続的停電は事実であり今後のデモの発生は否定できず

デモの様子

集会状況



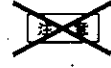
- 参加者約50名
- 集会による混乱無し

警備するイラク警察



シュプレ、休憩、シュプレの
繰り返し(平和的なデモ)

イラク全土の全般情勢評価 (4. 24)



(4月19日の報告以降変化なし。)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に、中北部において武装勢力による多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続(北部(モスル)での攻撃増加) ●新政権の主要メンバー決定前後から、若干増加傾向(一日平均40~50件台⇒50~60件台) 	3/7追加 4/13追加
スンニ過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安部隊・イラク政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンザール・スナとザルカウィGpが共闘の可能性 	4/11追加
バース党残党	●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●4/9のバグダッドでの大規模集会の成功により、存在をアピール⇒12月の選挙には単独で政治参加の可能性 	4/11追加
トレンド (特異事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●爆発物処理部隊を狙ったIEDが増加傾向(9月以来5件) ●偽物IEDが増加傾向(対処手順を観察か) ●子供を使った手法に留意(IED点火、監視等) 	4/5追加 4/19追加

イラク南東部の全般情勢評価 (4. 24)



(4月20日の報告以降変化なし。)

区分	内容	備考
全般	●比較的安定→多国籍軍/SCIRI(シーア派政党)に対する脅威情報	3/10追加
スンニ過激派 国際テロリスト バース党残党	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●バース党残党による多国籍軍(へり含む)への攻撃の可能性 ●英国総選挙に関連、世論操作のための攻撃の可能性 	4/20追加
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●行政機関への勤務、貿易の促進を提唱 ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 →最近の攻撃はサドル派民兵関与の可能性あり ●サドル派事務所はその存在感を増大させる可能性 ⇒一部の過激分子を抑えられるか否かが今後の鍵 	3/12追加 4/11追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> ・IED・自動車爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出し、カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ・ASRサークル路面状況悪化(タンバは4/20開通予定) 	
タリル空港	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂に対する自爆テロ情報(業者を装い)あり ・IED・自動車爆弾、不発弾、空港への迫撃砲攻撃に警戒 	3/14追加

△サンブ県の全般情勢評価 (4. 24)



(4月20日の報告以降変化なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的安定、しかしながら油断は出来ず ・英軍に対する市民の反応は、「様子見」の状態か ⇒ 蘭軍のようにスーク等で食事・休憩等しないため、親近感はないとの市民の声あり → 明確な敵意等の表示は市内で見られず 	3/27追加 3/13追加 4/19追加
スンニ過激派 国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための準備等のため存在する可能性あり ・英国総選挙に関連、世論操作のための攻撃の可能性 	4/20追加
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ・切迫した緊張感なし(蘭・英軍とサマーワ代表会談) ・サドル派民兵については特異動向なし 	3/5追加
部族関連	<ul style="list-style-type: none"> ・土地交渉等に不満を持つ一部の部族関係者が迫撃砲、又はロケットによる攻撃(脅し)を実施する可能性 	
選挙関連	<ul style="list-style-type: none"> ・アルバイーン終了につき、各種デモ(反知事・雇用・サドル派等)が突発的に生起する可能性→市内活動は注意 	4/3追加

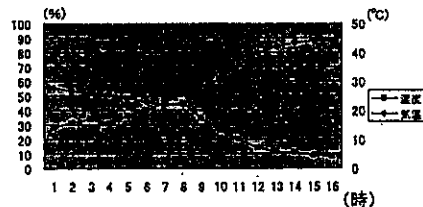
現地の気象情報

報告内容

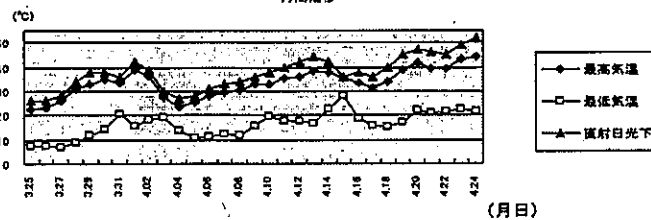
サマータイム

日の出 : 0621
 日の入り : 1934
 天 候 : 晴れ
 気 温 : 最高44.1℃、最低21.8℃
 : 最高52.0℃(直射日光下)
 (今季最高記録)
 湿 度 : 26.4%
 風 速 : S 2~3 m/s

気温・湿度推移(サマータイム)



月間推移



4月25日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
群長(J1)	兼支隊長(J2)	対外調整(J21)	人員輸送(J3)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
0515: 宿営地発 0545: キャンプ・スミッティ着 0600-0700: ANZAC DAY参加 0700: キャンプ・スミッティ発 0730: 宿営地着 1150-1220: 外務省との昼食会	1150-1220: 外務省との昼食会 1300: 宿営地発 1400-1500: ザイヤード総部隊 長訪問 1600: 宿営地着	0840: 宿営地発 0900-1000: アル・ホールド小学 校現地偵察 (サマーワ) 1030-1120: アル・ナヒール小学 校現地偵察 (サマーワ) 1150: 宿営地着	0800: 宿営地発 1000-1330: タリルAB (C-130欠航の 場合CVに前進) 1530: 宿営地着
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)	
人員17名 車両4両 (LAV×3) (HMV×1)	人員17名(復20名) 車両4両 (LAV×3) (HMV×1)	人員21名 車両4両 (LAV×3) (HMV×1)	人員24名(復21名) 車両6両 (LAV×4) (特大×4) (Amb×1)

4月25日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
会議・会同・情報収集等(J61)	会議・会同・情報収集等(J62)	施設支援(J7)	医療支援(J8)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
		0740: 宿営地発 0810-1050: サマーワ市内水道 管(4箇所)完成点 検 1100-1130: 屋外バスケットボ ール施設施工状況確 認(サマーワ) 1200: 宿営地着	0805: 宿営地発 0835-1230: 総合病院医療技 術指導 (サマーワ) 1300: 宿営地着
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(群長)	
人員14名 車両3両 (LAV×3)	人員14名 車両3両 (LAV×3)	人員19名 車両4両 (LAV×3) (HMV×1)	人員18名 車両4両 (LAV×3) (HMV×1)

4月25日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
J2ルートチェック(J101)	ルートチェック(J102)	ルートチェック及び偵察(J103)	GRF(J20)
0810-0830:モーニング・ミーティング			
1615-1645:イブニング・ミーティング		1715-1745:MND(SE)指揮官電話会議(群長)	

4月25日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
役務警備員配置(S6)	(英軍)交代要員対応	警衛(S11)	浄水活動(S12)
0810-0830:モーニング・ミーティング			
0530:宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1130:宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1930:宿営地～運河警戒位置 ～宿営地	ヘリ移動 25日:未定 26日:未定		0730-1200:大量送水システム 整備・運転
1615-1645:イブニング・ミーティング		1715-1745:MND(SE)指揮官電話会議(群長)	
警備中隊計画	交差隊通信班計画		給水隊計画

4月25日(月)の活動予定

サマーワ本隊			
宿當地内工事(S13)	群主力の行動(S15)	空中監視活動(S16)	
0810-0830:モーニング・ミーティング			
0800-1600: 医務室耐弾補修作業 0800-1600: 耐弾性強化施設補修作業 0800-1600: 緊急CP補修 0800-1600: コンテナ再配置作業 0800-1600: 出島コンテナ改修 0800-1600: ヘリポート舗装 0800-1600: 燃料庫補修工事	0800-1600: 宿當地内業務	0730-0730	
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE)指揮官電話会議(群長)	
施設隊等計画	群S-3計画	群S-2計画	

4月25日(月)の活動予定

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ・ 送品・後送品等輸送 ・ 換品・車両点検 ・ 支払業務 ・ メンタルヘルスチームの輸送支援等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恒常業務

アツバスPHC施工開始確認(ヒドル)



PHC外壁の状況



施工開始確認中の様子



煉瓦を積む業支隊長

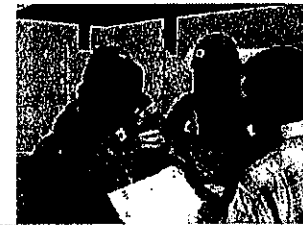
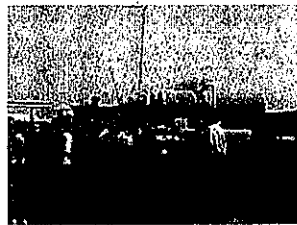


施工業者へ帽子のプレゼント

ムサンナガソリンスタンド現地偵察(サマーワ)



スタンド全景



現地偵察中の隊員

モック・ミティカ (240810)

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項:

一昨日、テレビ電話で家族と会話することが出来た隊員が、業支隊の厚生班に大変感謝していた。その隊員の家族は、地連から離れたところに住んでいるが、移動式テレビ電話を使って、無事話することが出来たそうである。その間、見えないうところで厚生幹部を中心に関係部署と緊密な調整がなされたと思う。今後とも、群や業支隊の第1科などは、隊員に喜んでもらえる施策、士気を高揚し得る施策をしっかりと実施して行ってもらいたい。

クワカニヤカ (241615)

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項:

一疲れから体調を崩している者が散見される様だが、昼寝をするなどの休養をとるようにせよ。特に最近、急に暑くなってきており、気合いだけではいずれ体調を崩してしまうだろう。大きく崩す前に、適切に休養をとるなどして体調を管理してもらいたい。来週には健康管理週間を設けて、朝礼時に、熱射病対策など医官にアドバイスしてもらう時間を作りたいと考えている。少しずつの休養でもリフレッシュになる。各人ごとの手入れに万全を期してもらいたい。

区分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威 [REDACTED] (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッドは [REDACTED]、モスルは [REDACTED]
2 特記事項	なし
3 本日の業務	(1) C2勤務 昼間 (0900-2100) 勤務: [REDACTED] 夜間 (1930-0730) 勤務: [REDACTED] (2) 情報収集及び情報資料の送付等 ア 業支隊及び統導情報要求対応 ・ムサンナ県以外のCIMIC情報収集継続 (3科) ・NND-SEの部隊交代現況情報収集継続 (統導) イ C2スタッフ送付件数 16 件
4 明日の予定	情報収集及び業務調整
5 その他 (備考)	[REDACTED] 戦力回復(4月19~27日)



バグダッドLO日々業務報告(4月24日1900)



バスラLO日々業務報告(4月24日1900)	
区 分	内 容
1 警戒態勢等	バスラ空港 ・警戒レベル ・警戒態勢
2 特記事項	

区 分	内 容
3 本日の業務	(1) 輸送機等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応 SSR(ISFの戦力化の状況)、豪軍・英軍展開関連、BLUE on BLUE関連 MND(SE) 関連、地元メディア関連 (3) 定例情報収集： (4) 定例会議への出席：司令部朝会議・夕会議、J2証護統一会議、J3証護統一会議 (5) VIPのキャンプ・サマーワ訪問調整
4 明日の予定	(1) コンボイ等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応、定例情報収集 (3) 定例会議への出席 (4) 各種会議等調整 (5) MND(SE) 舞團作戦会議代理参加(連絡班長) (6) VIPのサマーワ訪問調整 (7) オーストラリアアンザックDAY 参加
5 その他(備考)	特になし

クウェート分遣班業務報告

17.4.24

全 般

○国内情勢等 ○人員・武器等異状なし ○人員報告:所属人員24名 事故人員2名(サマーワ業務支援2名) 現在員22名 ○受入準備、業者調整、郵便業務、車両点検等実施	○天候:晴 ○気温:26~43°C (直射日光下の最高気温52°C)
---	--

本日の活動状況

恒常業務	その他
○8次群受入準備 ○業者調整(クウェート市内) 旅行者、土産業者との調整 ○郵便業務(クウェート市内) ○車両点検(クウェート市内) 遠送品輸送車両の点検	特記事項なし

明日の予定

恒常業務	その他
○遠送品・後送品等輸送(クウェート市内~アリアルサム基地) クウェート市内倉庫から遠送品をサマーワへ送り出し、浄水セット等後送品を受入 ○検品・車両点検(クウェート市内) 燃料の検品、輸送車両の点検 ○支払業務(クウェート市内)	○メンタルヘルス診療支援者の輸送支援等、教育受講 アリアルサム基地から市内ホテルへの輸送支援及びメンタルヘルス教育受講

その他(教訓・要望事項等)

特になし。